



茨城県橋本知事がアオコ対策の現場視察
をされました。



アオコ対策の説明状況



左から: 畠山所長、橋本知事、土浦市長



腐敗アオコの攪拌: 悪臭を断つための応急策

【現地視察日時】平成23年9月8日(木) 14:30~15:00

【場 所】土浦港

【対策説明者】霞ヶ浦河川事務所 ハタケヤマ 畠山事務所長

【説明内容】水面清掃船をはじめとした国交省のアオコ対策について

- ①土浦港のアオコ対策状況
- ②水面清掃船によるアオコ除去作業
- ③関係自治体との連携
- ④西浦のアオコ対策経緯
- ⑤アオコ発生の経年変化
- ⑥水質改善の為の様々な対策
- ⑦霞ヶ浦の水位状況

茨城県知事現場視察説明資料

水面清掃船をはじめとした国交省のアオコ対応について

平成23年9月8日

霞ヶ浦河川事務所

土浦港のアオコ発生状況 (H23年8月8日 15:00撮影)



土浦港のアオコ対策後の状況 (H23年8月11日 10:00撮影)



アオコ除去作業状況



茨城県(土浦土木事務所)、土浦市との連携

土浦港(西浦)8/6



土浦市へハンドドスキマー貸与

備前川(西浦)8/10



茨城県から要請によるアオコフェンス設置

新川(西浦)8/15



土浦市から要請による腐敗アオコ攪拌

武田川(北浦)7/15

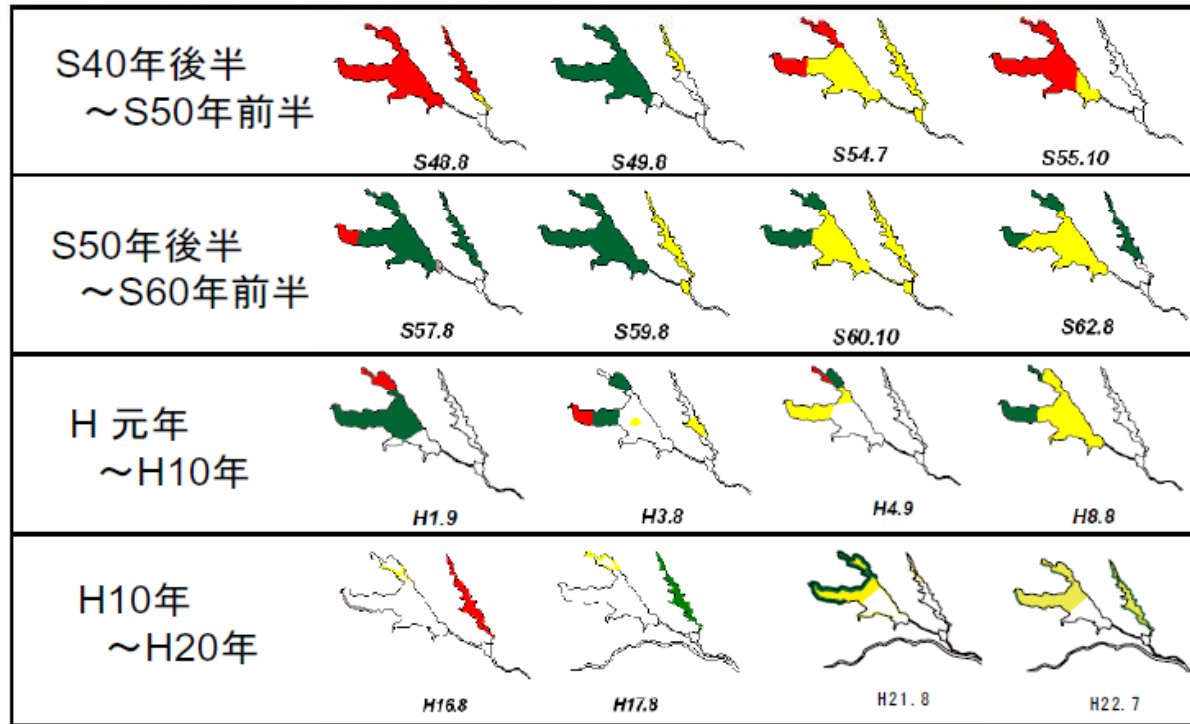


茨城県から要請によるアオコフェンス設置

西浦のアオコ対策経緯

6/16~7/11	アオコレベル3~4観測
6/28	土浦港送水ポンプ運転
7/12~14	アオコレベル3~5が観測
7/15~8/2	アオコレベル3~4が観測
8/3~	アオコレベル5が観測
8/4	アオコレベル6が観測
8/5	土浦港 水面清掃船「水馬」出動指示
8/8~12	土浦港 アオコ回収 腐敗アオコ攪拌作業 備前川河口アオコフェンス設置
8/15	土浦港 腐敗アオコ攪拌作業 新川 腐敗アオコ攪拌作業
8/17	土浦港 腐敗アオコ攪拌作業 新川 腐敗アオコ攪拌作業
8/18~31	土浦港 適宜、アオコ攪拌作業 水面清掃船 現場待機
9月中旬まで	土浦港送水ポンプ運転、備前川アオコフェンス設置

アオコ発生の経年変化



アオコとは“らんそう類”と呼ばれる植物プランクトンが、湖沼や池などで大量に発生し、水面が緑色になる現象のことです。
アオコは腐敗するとカビ臭などひどい悪臭を発生し、腐敗したアオコが水中で分解される時に酸素が消費されるため、水中が酸欠状態になり魚の大量死を招くことがあります。

- アオコ無し
- アオコ少し有り レベル2.3
- アオコ多い レベル4
- アオコ非常に多い レベル5.6

見た目アオコ指標

レベル2 うっすらとすじ状にアオコが見える

レベル3 水面全体に広がり、所々パッチ状。

レベル4 まく状にアオコが湖面をおおう。

レベル5 厚くマット状に湖面をおおう。

レベル6 アオコが厚くたまり、表面が白っぽくなったり、紫、青のしま模様になる。ふん臭がする。

アオコの発生状況

西浦では、昭和50年代から毎年夏になると大量のアオコが発生して湖面を覆っていました。近年では、平成16、17年に北浦で大量のアオコが発生しています。
平成22年は7・8月に北浦においてアオコが多く確認されています。

水質改善の為の様々な対策

● 大規模浚渫

霞ヶ浦は、富栄養化した底泥が堆積し、その底泥が湖水への溶出・沈降を繰り返しています。この対策として、湖内の富栄養化した底泥を取り除き、溶出量を減じます。



大規模浚渫

● 湖内湖浄化施設（ウェットランド）

出水時に高濃度な汚濁物質が流入・拡散する前に河川河口部において、一時的に沈降・貯留させ、除去することで汚濁負荷を低減させる施設です。また、植生等も繁茂し生態空間の創出も期待されます。

● 植生浄化施設

● 霞ヶ浦導水事業

湖岸植生帯

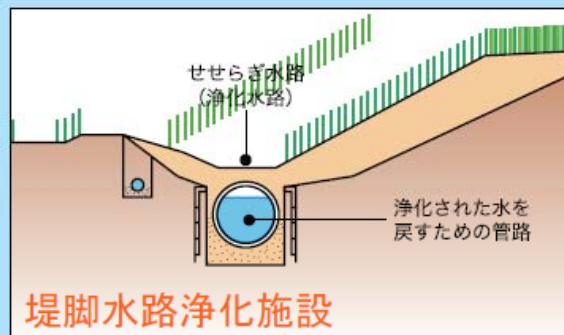
堤脚水路浄化施設



ウェットランド（川尻川）



植生浄化施設（清明川）



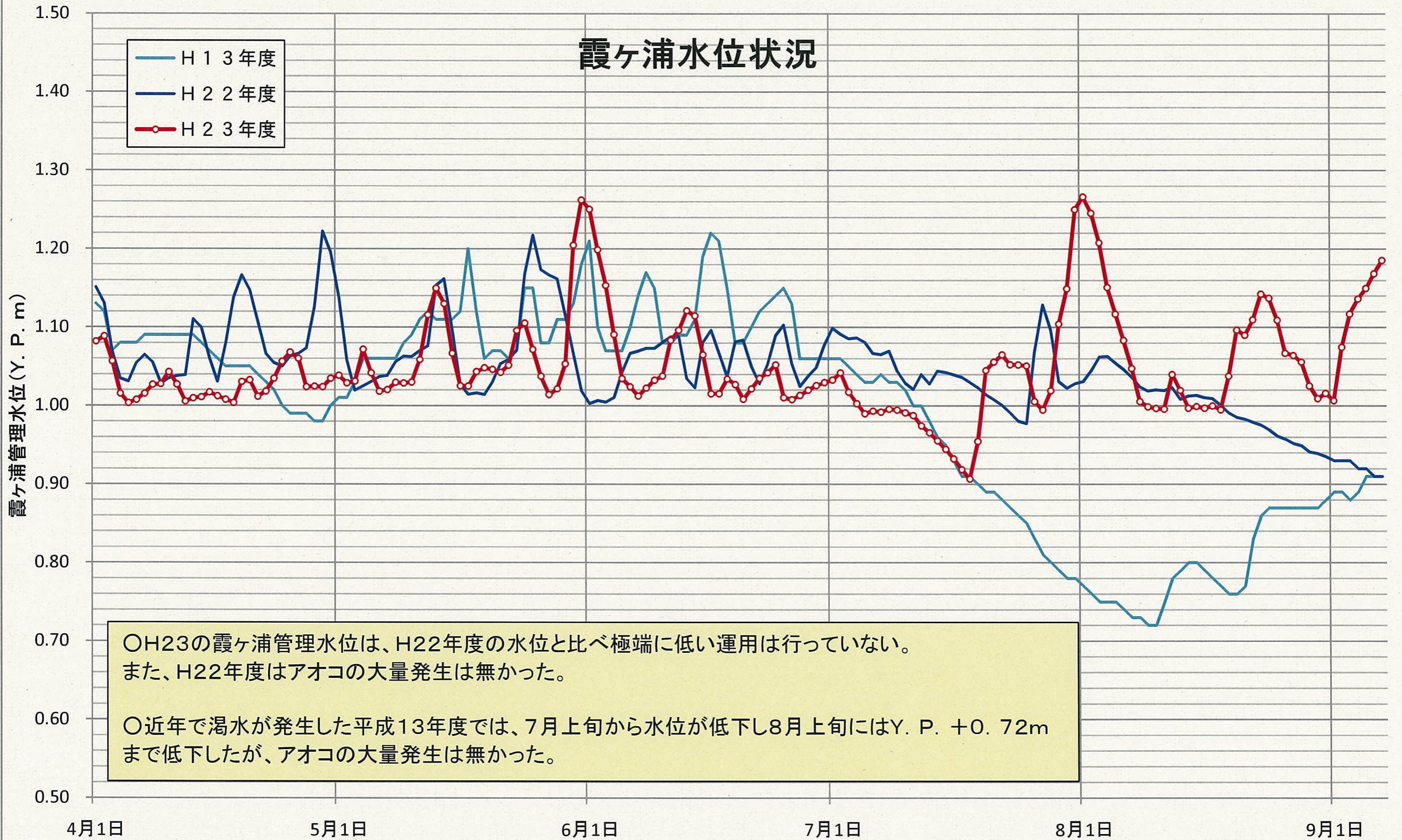
堤脚水路浄化施設

位置図



くわしくは、霞ヶ浦河川事務所のホームページをご覧ください。
<http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/>

霞ヶ浦水位状況



※9月データは7日まで
※H22年度、H23年度水位データは速報値